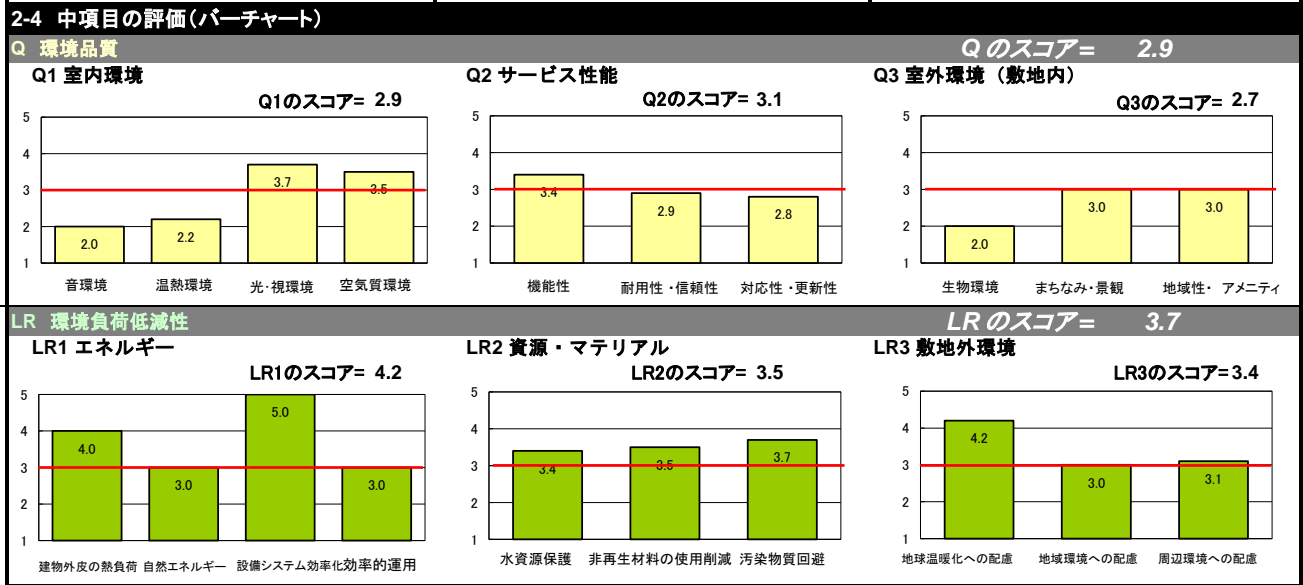
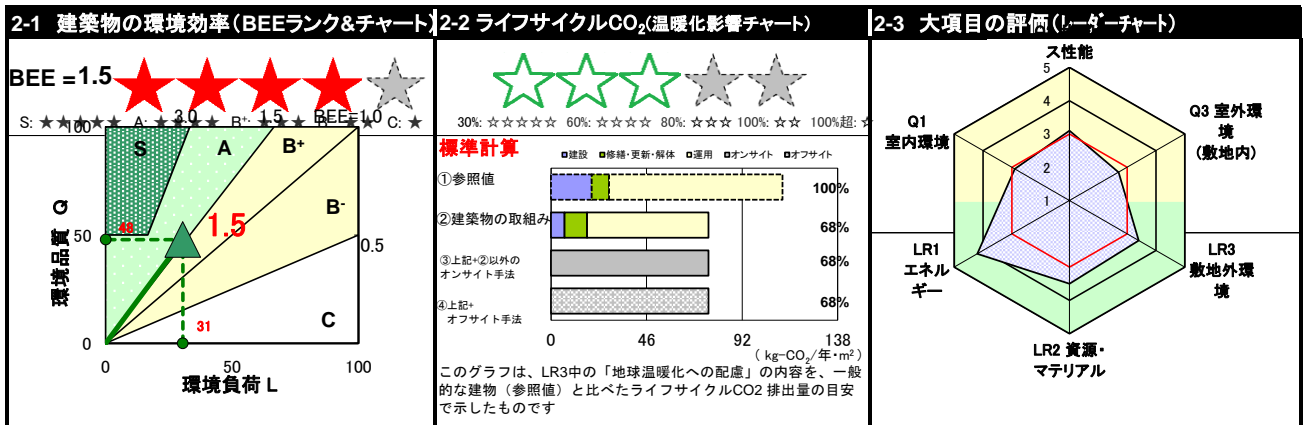


| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-------------------------|--------|------------------|
| 建物名称 | 浜見平団地(建替)第3期第3住宅建設工事 F棟 | 階数 | 地上7F |
| 建設地 | 茅ヶ崎市浜見平522-3の一部 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第一種中高層住居専用地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 180人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | |
| 竣工年 | 2019年11月 予定 | 評価の実施日 | 2017年9月24日 |
| 敷地面積 | 2,832 m ² | 作成者 | 株木建設株式会社一級建築士事務所 |
| 建築面積 | 761 m ² | 確認日 | |
| 延床面積 | 3,962 m ² | 確認者 | |

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 |
|---|---|
| 敷地内に緑を多く配置し、環境に配慮した設計とした。 全住戸南向きの為、採光・通風に関して居住者のアメニティを向上させている。 | 一団地建築物設計等の認定をうけた敷地内に建設する建物である。 敷地については認定の全体敷地、建築物については棟別で評価を行った。 |
| Q1 室内環境 住宅性能表示基準、断熱等性能等級4。 建材はシックハウス対策としてF☆☆☆☆を採用。 | Q2 サービス性能 配管類は硬質塩化ビニルライニング鋼管など耐用年数の長いものを採用し、更新間隔を長くしている。 |
| Q3 室外環境 (敷地内) 周辺の街並みに調和するよう配慮。 | LR1 エネルギー 潜熱回収型給湯暖房機を採用。 |
| LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が分別可能となっている。 | LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=68%としている。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される